

V-Campus 6th 更新

1. 概要

立教大学を支える重要なインフラである情報基盤を「V-Campus」と総称し、2012年からシステムの強化・拡充をはかった「V-Campus 5th」が稼働していた。

2016年度は、V-Campus 5th から4年を経過し見えてきた課題の対策、最新の技術提供、これまでの目的を継承しつつさらにコスト削減と安定稼働に注視したインフラ整備を行った。

「V-Campus 6th」更新作業は、2015年10月に業者選定を終え、翌11月よりシステム更新作業を開始し、一部の機能(*)を除き2016年8月末に更新作業を終了した。

(*) IDM・認証機能については要件が多岐にわたるため、2016年8月末に基本機能については更新作業を終了した。2016年9月より順次追加要件部分について更新作業を実施し、2017年5月末をもって全て終了となる。

V-Campus 6th 更新対象範囲は以下のカテゴリーに分けて行われた。

- (1). p1. 回線
- (2). p2. IDC・監視
- (3). p3. ネットワークセキュリティ
- (4). p4. メールシステム
- (5). p5. IDM・認証連携
- (6). p6. サーバ・ストレージ

2. 更新のポイント

- (1). p1. 回線
回線帯域の不足解消とバックアップ回線コスト削減
- (2). p2. IDC・監視
サーバリソース増大対策とクラウド化
- (3). p3. ネットワークセキュリティ
セキュリティ強化と見える化
- (4). p4. メールシステム
セキュリティ強化とBCP対策
- (5). p5. IDM・認証連携
アカウントライフサイクルの見直し
- (6). p6. サーバ・ストレージ
ストレージリソース増大の解消とクラウド化

3. 更新作業状況

(1). 更新作業工程

更新作業における工程表を以下に示す。

No	項目	2015年										2016年								
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
1	要件検討・提案依頼書作成	→																		
2	提案依頼書ベンダー提出				▲ 7/1出状															
3	質疑応答期間				→ 7/2 - 7/22															
4	事前プレゼンテーション（認識合わせ）				→ 7/27 - 8/3															
5	提案書提出					▲ 8/20														
6	提案書内容精査					→														
7	プレゼンテーション					→ 9/1 - 9/7														
8	見積もり金額調整					→ ~10/3														
9	ベンダー評価・選定						→ 10/4 - 10/12													
10	結果通知						▲ 10/13													
11	要件調整							→												
12	見積もり金額調整							→												
13	基本設計書作成・レビュー												→							
14	詳細設計書作成・レビュー														→					
15	単体テスト															→				
16	結合・総合テスト																→			
17	移行																			
18	運用引継ぎ																	移行可能なカテゴリより、段階的に移行	→ → →	
19	成果物納品																		→	

表 1： 工程表

(2). プロジェクト管理状況

進捗管理および会議体の開催状況を以下に示す。

① 進捗管理：毎週 金曜日実施（計 14 回）

② 個別会議：メディアセンター内 週次報告会議を毎週金曜日実施（計 20 回）

選定業者 4 社との個別会議を随時実施（計 51 回）

4. V-Campus 6th 更新のまとめ

V-Campus 6th Stage において、概ねインフラ整備が完成させたといえる。但し、まだセキュリティ上の課題等が残っているので、次期更新に向け準備を進めていく。

また、今回取り入れたクラウド化の技術をさらに発展させ、コスト削減等に取り組んでいく。